

2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若林圭太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大槻健 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	6,066	△5.4	255	—	270	—	260	—
2020年10月期第2四半期	6,409	△23.8	△137	—	△150	—	△43	—

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 299百万円(978.1%) 2020年10月期第2四半期 27百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	10.57	—
2020年10月期第2四半期	△1.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	13,029	5,764	44.2
2020年10月期	13,727	5,565	40.5

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 5,764百万円 2020年10月期 5,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	0.00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,000	0.5	200	—	200	—	150	6.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年10月期 2 Q	24,650,800株	2020年10月期	24,650,800株
2021年10月期 2 Q	52,690株	2020年10月期	52,690株
2021年10月期 2 Q	24,598,110株	2020年10月期 2 Q	24,598,110株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予測数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年11月1日～2021年4月30日)における我が国経済は、2021年1-3月期のGDP成長率が、前期比で実質△1.0%(年率換算△3.9%)と3四半期ぶりのマイナス成長となりました。新型コロナウイルス対策の一環としてのリモートワークやリモート学習の増加に伴い、半導体の需要が高まったこと等により、製造業における設備投資は持ち直しの動きがみられつつあるものの、従来よりも感染力が強いとされる新型コロナウイルス変異株の感染が広がり、都市部を中心に緊急事態宣言の再発令や蔓延防止等重点措置の発令がなされ、飲食店、百貨店、興行等に対する規制措置により個人消費の低迷が続いております。我が国においても、ようやくワクチン接種が始まりましたが、経済活動が元に戻るまでどのくらいの期間を要するのかは見通せない状況にあります。また、アメリカにおいては、新大統領が誕生しましたが、中国に対する外交姿勢には変化が見られず、新型コロナ終息後も両国の対立は続くものと思われ、経済活動に大きな影響を与えることが懸念されております。景気の先行きは何時にも増して不透明な状況にあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、デジタル印刷の受注がECサイトでの受注も含めて増加しましたが、新型コロナウイルス感染再拡大による飲食店に対する酒類提供の禁止、営業時間制限、各種イベントの中止や延期、観客数制限が続く、集客のためのチラシやフリーペーパーへの広告出稿が減少したことから、セグメント売上高は5,042百万円(前年同期比4.5%減)となりましたが、ソフトを活用したデジタル印刷の受注増加、生産効率の改善、内製化率の向上等により、セグメント利益は397百万円(前年同期比488.3%増)となりました。引き続き、生産効率の向上、コスト削減に取り組みます。また、ネット及びソフト活用とデジタル印刷の受注に注力するとともに、紙媒体からデジタル媒体へのシフトが加速する中、顧客の販促活動を紙媒体も含め総合的にサポートする営業活動を展開し、収益力の強化を図ってまいります。

メディア事業につきましては、当社が保有する株式会社関西ばどの株式の61%を2月1日付で譲渡し、第2四半期から当該会社が連結子会社から持分法適用会社に変更となったことから、セグメント売上高は322百万円(前年同期比55.3%減)、セグメント利益は9百万円の損失(前年同期は20百万円の損失)となりました。なお、当社が保有する関西ばどの残り39%の株式についても5月31日付で譲渡したため、第3四半期以降は持分法適用会社からも外れることとなります。

知育事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、幼稚園・保育園の休園、また、対面営業が難しくなったことから、絵本や日用品等の従来商品の販売は低迷しましたが、コロナ対策商品に力点を置き営業展開を行った結果、売上高は堅調に推移しました。また、新規獲得のため、コロナ対策商品を中心としたダイレクト・メールの発送やECサイトの構築による新たな販売ルートが目途も立ちつつあります。さらに、コスト面においては業務の見直しによる効率化や在庫整理を強力に進めるなど、経費の大幅な削減に努めた結果、セグメント売上高は860百万円(前年同期比13.4%増)、セグメント利益は25百万円(前年同期比735.6%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,066百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は255百万円(前年同期は営業損失137百万円)、経常利益は270百万円(前年同期は経常損失150百万円)となりました。第1四半期においては、電力料金急騰に伴う特別損失(臨時損失)76百万円を計上していたものの、第2四半期で関係会社株式売却益79百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は260百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は13,029百万円と、前連結会計年度末に比べて698百万円減少いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少653百万円、投資有価証券の増加120百万円、商品及び製品の減少91百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,265百万円と、前連結会計年度末に比べて897百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少399百万円、支払手形及び買掛金の減少329百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,764百万円と、前連結会計年度末に比べて199百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加161百万円、その他有価証券評価差額金の増加40百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染再拡大により、依然として経済活動の回復見通しが不透明であることから、現時点では、去る2020年12月14日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,075	4,277
受取手形及び売掛金	2,542	1,888
商品及び製品	449	358
仕掛品	110	84
原材料及び貯蔵品	195	189
その他	211	138
貸倒引当金	△5	△1
流動資産合計	7,579	6,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,047	1,013
機械装置及び運搬具（純額）	478	430
土地	2,118	2,118
リース資産（純額）	1,084	1,005
その他（純額）	33	54
有形固定資産合計	4,762	4,623
無形固定資産		
その他	55	50
無形固定資産合計	55	50
投資その他の資産		
投資有価証券	978	1,099
長期貸付金	23	1
破産更生債権等	5	1
その他	338	331
貸倒引当金	△17	△13
投資その他の資産合計	1,329	1,421
固定資産合計	6,147	6,094
資産合計	13,727	13,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,372	1,042
電子記録債務	1,302	1,504
1年内返済予定の長期借入金	708	616
リース債務	235	240
未払金	501	498
未払法人税等	21	18
預り金	36	5
賞与引当金	39	28
設備関係支払手形	3	0
その他	168	94
流動負債合計	4,391	4,050
固定負債		
長期借入金	1,859	1,459
リース債務	956	862
退職給付に係る負債	512	441
繰延税金負債	339	354
資産除去債務	15	9
その他	88	86
固定負債合計	3,771	3,214
負債合計	8,162	7,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	1,969	2,130
自己株式	△4	△6
株主資本合計	5,391	5,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168	208
退職給付に係る調整累計額	5	4
その他の包括利益累計額合計	173	213
純資産合計	5,565	5,764
負債純資産合計	13,727	13,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
売上高	6,409	6,066
売上原価	5,071	4,761
売上総利益	1,338	1,305
販売費及び一般管理費	1,476	1,050
営業利益又は営業損失(△)	△137	255
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	—	6
受取賃貸料	11	13
その他	15	18
営業外収益合計	38	48
営業外費用		
支払利息	29	25
持分法による投資損失	13	—
不動産賃貸原価	2	2
支払手数料	4	1
その他	1	5
営業外費用合計	50	34
経常利益又は経常損失(△)	△150	270
特別利益		
投資有価証券売却益	0	3
関係会社株式売却益	174	79
その他	—	0
特別利益合計	175	83
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	0	4
投資有価証券評価損	56	—
事務所移転費用	—	2
臨時損失	—	76
特別損失合計	67	83
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42	270
法人税、住民税及び事業税	27	9
過年度法人税等	△28	—
法人税等調整額	1	0
法人税等合計	0	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43	260
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	260

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43	260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	40
繰延ヘッジ損益	△5	—
為替換算調整勘定	0	—
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	70	39
四半期包括利益	27	299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	299

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42	270
減価償却費	229	215
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37	△3
受取利息及び受取配当金	△10	△10
持分法による投資損益(△は益)	13	△6
支払利息	29	25
支払手数料	4	1
投資有価証券評価損益(△は益)	56	—
固定資産売却損益(△は益)	10	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△3
関係会社株式売却損益(△は益)	△174	△79
臨時損失	—	76
固定資産除却損	0	4
売上債権の増減額(△は増加)	△148	524
たな卸資産の増減額(△は増加)	170	119
仕入債務の増減額(△は減少)	336	△80
その他	△44	△93
小計	448	936
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△29	△26
支払手数料の支払額	△4	△1
臨時損失に伴う支払額	—	△23
法人税等の還付額	20	6
法人税等の支払額	△13	△13
その他	—	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	433	877
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112	△66
有形固定資産の売却による収入	—	15
無形固定資産の取得による支出	△5	△15
無形固定資産の売却による収入	25	—
投資有価証券の売却による収入	0	12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	442	—
貸付金の回収による収入	5	4
その他	△6	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	350	△162

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△705	△411
リース債務の返済による支出	△107	△100
配当金の支払額	△48	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△861	△513
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78	201
現金及び現金同等物の期首残高	3,402	3,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,324	3,759

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,929	721	759	6,409	—	6,409
セグメント間の内部売上 高又は振替高	352	0	—	353	△353	—
計	5,282	721	759	6,762	△353	6,409
セグメント利益又は損失 (△)	67	△20	3	50	△188	△137

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△188百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に株式会社ウィズコーポレーションの株式を売却したことに伴い、「知育事業」セグメントにおいて、のれんの金額が328百万円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年11月1日至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,883	322	860	6,066	—	6,066
セグメント間の内部売上 高又は振替高	158	0	0	159	△159	—
計	5,042	322	860	6,225	△159	6,066
セグメント利益又は損失 (△)	397	△9	25	413	△157	255

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△157百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年2月1日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社関西ばどの、当社が保有する株式の全部を譲渡することを決議いたしました。

1. 株式譲渡の概要

(1) 株式譲渡の相手先の名称

富岡 紀幸

(2) 譲渡した子会社の名称及び事業内容

名称 株式会社関西ばど

事業の内容 生活情報誌、チラシ、パンフレット、商品カタログ集、商品見本等の制作並びに配布受託

(3) 株式譲渡の理由

生活情報誌の発行を主たる事業とする株式会社関西ばどは、2014年6月に当社連結子会社となった後にメディア事業セグメントを構成し、これまでの間に当社グループの成長に貢献を果たしてまいりましたが、今後のグループ全体における経営資源の最適配分の観点から、株式を譲渡することに至りました。

(4) 株式譲渡日

2021年2月1日 全株式の61%の譲渡を実行

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡により、株式会社関西ばどに対する当社の持分比率が100.0%から39.0%となったため、同社は持分法適用会社へ異動しております。

なお、残りの39.0%の株式については、5月31日付で譲渡しております。

2. 実施した会計処理の概要

(1) 譲渡損益の金額

関係会社株式売却益 79百万円

(2) 譲渡した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内容

流動資産	403百万円
固定資産	39百万円
<hr/>	
資産合計	442百万円
<hr/>	
流動負債	122百万円
固定負債	155百万円
<hr/>	
負債合計	277百万円
<hr/>	

(3) 会計処理

当該株式会社の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を関係会社株式売却益として特別利益に計上しております。

3. 譲渡した子会社の事業が含まれていた報告セグメント

メディア事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 311百万円
営業損失 △16百万円